

第6学年外国語活動指導案

I 単元名 絵本を作ってクイズを出そう (関連：英語ノート2)

II 単元の考察

1 児童の実態 (省略)

2 教材観

本単元は、英語ノート2レッスン8の世界の物語を紹介する活動を取り入れ、そこからオリジナルの絵本作りへと発展させた。世界の民話や昔話、物語に触れることで、世界や日本の物語について知り、物語のおもしろさとともに、文化的、歴史的な違いについても知ることができると考える。また、外国の絵本にある繰り返しの英語表現を聞くことにより、児童が自然に音声に慣れ親しみ、楽しみながら聞くことで自分の中に音声を取り入れやすいのではないかと考える。また、絵を見ながら聞くことで、具体的なイメージから英語の意味の推測がしやすいという利点も考えられる。そのことから、「発話アプローチ」に沿った教材として絵本を取り入れることは、児童が音声に慣れ親しみ、意欲的に表現する上で有効な教材であると考えられる。

そして、目的をもち、聞いたり、話したりする活動を繰り返すことで、児童は英語表現に十分慣れることができる。その後、実際に2年生にクイズを出す活動を通して、児童は、今まで理解した英語表現の中から、自分たちで英語を選び使うことで、意欲的に表現していこうとする態度をはぐくむことができると考える。

また、グループで絵本を作り、2年生にクイズを出すことで、協力して一つのものを作成することは、卒業していく6年生にとって、助け合うことの大切さも学べる教材である。

以上のことから、本教材を学習することにより、本学級の児童が、音声に慣れ親しみ、意欲的に英語で表現していこうとすることに有効な教材であると考え、本単元を設定した。

3 指導方針

- ・自然に発話できるように「発話アプローチ」を段階ごとに繰り返す活動を計画的に設定する。
- ・主体的に活動できるように、児童の興味・関心等の実態に合わせて、英語ノートの指導計画の中から教材を選択して活用する。
- ・音声と意味のつながりを強めるために、掲示物や具体物も手がかりとして使用する。
- ・楽しく活動しながら英語表現に慣れ親しめるように、チャンツやゲームを取り入れるようにする。
- ・英語での表現を注意深く聞こうとする態度を育てるために、児童の実態に応じたクラスルームイングリッシュを活用したり興味をもって聞こうとするための活動を工夫したりして、英語表現に慣れ親しめるようにする。
- ・授業のねらいや活動の内容を明確化し、授業のはじめに児童に伝えるようにして、児童が自己評価ができるよう、ねらいに即した「振り返りカード」を用いる。
- ・児童が意欲的にコミュニケーションを図れるよう、少しでも伝え合おうとする姿を賞賛するよう努める。
- ・話し手の発言をよく聞き、相手の気持ちを受け止めるような、受容の態度も大切に扱う。
- ・担任主導の授業の展開を基本とし、ALT に正しい発音をしてもらうなど、担任とALT の役割分担を明確にしておく。
- ・学活と関連を図り、2年生のために絵本を作りグループでクイズを考える活動を通して、高学年としての意識の向上やグループの友達と協力していくことの大切さをもてるようにする。
- ・「出会う」過程では、目的をはっきりもち活動できるように、授業のはじめに絵本を作って2年生にクイズを出すという目的を明確化する。
- ・音声の違いや言葉のもつはたらきに気付くことができるように、「出会う」過程では、絵本を取り入れ、楽しみながら聞くことを中心に活動を設定する。
- ・「出会う」過程や「慣れる」過程で、児童の絵本作りやクイズ作りのヒントになるように、教師作成の絵本を取り入れ、具体物で示し、イメージを広げる。
- ・「慣れる」過程において、英語表現に慣れる際には、単調な繰り返し練習にならないように、目的をもって英語をさらに聞いたり話したりできる発話アプローチに沿った活動を段階ごとに複数取り入れる。
- ・「慣れる」過程においては、必然性のある「聞く、話す」活動を繰り返し行い、英語の意味の理解を促す。
- ・「慣れる」過程では、絵本作りのヒントになるように、理解した英語表現が繰り返し使える場を設定し、材料を自己選択させたり、理解した英語表現を選択して使わせたりして意欲を図る。
- ・「広げる」過程では、自分たちが作成した絵本を使って、自分の言葉でクイズが考えられるとともに、友達からもアドバイスが受けられるように、グループ活動を取り入れる。
- ・「広げる」過程では、児童が意欲的に表現するために、ねらいに沿って表現しているグループを紹介し、他のグループが参考にできるような場を設ける。

小学校外国語活動	6年 絵本を作ってクイズを出そう (5時間)	指導時期 平成23年9月～10月
単元の目標	評価の観点	単元の評価規準
○慣れた英語を使って絵本を作り、2年生にクイズをで紹介する。	コミュニケーションのへの関心・意欲・態度	グループで協力して意欲的にクイズや絵本を作ろうとしている。
	外国語への慣れ親しみ	クイズを出すための表現を使い相手に言ったり、質問したりしている。
	言語や文化に関する気付き	世界の国の物語を知り、そのおもしろさに気付いている。
単元の系統	5年 クイズ大会をしよう → 絵本を作ってクイズを出そう (本単元)	

時	ねらい	主な学習活動	支援・指導上の留意点	評価項目〈評価の観点〉(評価方法)
1	<p>≪ねらい≫ インプット段階 理解しやすい多くの音声に触れ、自分の中に音声を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の国の物語を知り、内容を想像して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のねらいを知る。 ●英語ノートの物語を聞いて推測をする活動 ○音声の特徴に気付く ●ALTの国の物語の紹介を聞く活動 ○聞いた音声のイメージをもつ ●ブラウンベアの物語を聞く活動 ○音声の特徴に気付く ・振り返りをする。 	<p>(日本語との音声の違いに気付く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語のイメージがもてるように、英語ノートの他に絵本も用意し、提示する。 <p>(具体物を手がかりにしてイメージをもって聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本を見せながら、ALTのお気に入りの物語を紹介する。 <p>(リズムやアクセントに注意する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リズムのおもしろさに気付けるよう絵本を読み、繰り返しの表現に興味をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の物語を知り、集中して聞いている。 (言語や文化に関する気付き) (行動観察、振り返りカード)
2	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを通して、絵本作りやクイズに使える形容詞を使った英語表現に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本を聞いたり、チャンツをしたりする活動 ○音声に興味をもつ ○音声の特徴に気付く ○音声の意味を推測する ●教師の絵本Iの読み聞かせを聞く活動 ○聞いた音声のイメージをもつ ○音声と意味をつなぎ合わせる ●「ミッシングゲーム」をする活動 ○音声の意味を推測する ○音声と意味をつなぎ合わせる 	<p>(音楽に合わせて体を動かし、歌う)</p> <p>(リズムやアクセントに注意する)</p> <p>(意味を推測してまねて言う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味をもって聞くことができるように、繰り返しの表現をまねしたり、出てきた動物のカードを黒板に貼ったりする。 <p>(音声とイメージを対比しながら聞く)</p> <p>(聞かれたことに反応して1、2語で答える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○形容詞のイメージを推測させるために、ジェスチャーなどを付けながら読み聞かせをする。 <p>(具体物を手がかりにしてイメージをもって聞く)</p> <p>(意味を推測してまねて言う)</p> <p>(聞かれたことに反応して1、2語で答える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意味の推測を図るために、ジェスチャーをするとともに形容詞と動物の両方でイメージが膨らむようなカードを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの中で、形容詞を使った英語表現を使おうとしている。 〈外国語への慣れ親しみ〉 〈言語や文化に対する気付き〉 (行動観察・振り返りカード)
III 単元構想	<p>≪ねらい≫ インテイク段階 聞いた音声の意味を理解し、自分の言葉にしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「Go fish ゲーム」をする活動 ○意味の推測を繰り返し、理解する ・振り返りをする。 	<p>(具体物を手がかりにして意味を理解して簡単な英語で答える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語表現を言ったり聞いたりする機会を増やすために、カードを要求したり、引いたりするときに、What do you see? I see a ~.という英語表現を繰り返し使うように伝える。 	

3	<p>・ゲームを通して、絵本作りやクイズに使える英語表現に慣れ、使おうとする。</p>	<p>●チャンツをする。 ○知っている英語に興味をもつ</p> <p>●「キーワードゲーム」をする。 ○意味の推測を繰り返し、理解を深める</p> <p>●「伝言ゲーム」をする活動 ○理解した英語を使いながら自分の言葉にしようとする</p> <p>●作ったカードでクイズを出す活動 ○理解した英語を使いながら自分の言葉にしようとする</p> <p>・振り返りをする。</p>	<p>(音声を聞いて、具体物を手がかりにしてイメージをはっきりもつ)</p> <p>(聞いた英語を理解し、反応して動く) ○聞いた英語の意味の理解が深まるように、絵カードを黒板に掲示して、「キーワードゲーム」を行う。</p> <p>(聞いた英語を理解し、まねして人に伝える) ○協力を意識させるために、相手が聞きやすい伝え方を考えるよう促す。</p> <p>(必要なものを得るために、理解した英語を使う) (理解した単語や簡単な文を聞いて、考えて伝える) ○英語を繰り返し使うために、理解した英語を使いながらカードを作り、クイズを出す。</p>	<p>・慣れた英語表現を使って、ゲームの中で友達に伝えようとしている (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) (外国語への慣れ親しみ) (振り返りカード・行動観察)</p>
4	<p>〈ねらい〉 アウトプットの段階 自分の言葉として話す。</p> <p>・グループで協力して、絵本やクイズで使う英語表現を選び、使おうとする。</p>	<p>●チャンツをする活動 ○理解した英語に興味をもつ</p> <p>●教師の絵本Ⅱの読み聞かせを聞く活動 ○理解した英語に興味をもつ</p> <p>●絵本づくりを考える活動 (グループ活動) ○場面や相手に応じ、自分の分かる英語を選んで表現する</p> <p>●グループの中でクイズを出し合う活動 ○場面や相手に応じ、自分の分かる英語を選んで表現する</p> <p>・振り返りをする。</p>	<p>(英語のリズムやイントネーションをまねして言う)</p> <p>(聞いて分かったことを言う) ○絵本を使ってどのようにクイズをするのか参考になるようにデモンストレーションで示す。</p> <p>(分かる単語や簡単な文を聞いて、考えて伝える) (分かっている英語を組み合わせて伝える)場 ○2年生のために、分かりやすい英語を加えたり、ジェスチャーも取り入れる。</p> <p>(場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える) (分かっている英語を組み合わせて伝える) ○自分が分かる英語を使ってクイズが出せるように、お互いにアドバイスをし合ったり、協力し合えるグループ活動を取り入れる。 ・「振り返りカード」に記入しながら、授業を振り返らせるようにする。</p>	<p>・絵本やクイズで使う英語を友達と協力しながら考え、グループ活動の中で使っている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) (外国語への慣れ親しみ) (行動観察、振り返りカード)</p>
5	<p>・グループで協力し、自分たちが作った絵本を使って、2年生に英語でクイズを出す。</p>	<p>●10 steps を歌う活動 ○理解した英語に興味をもつ</p> <p>●自分が作成した絵本を使って、2年生にクイズを出す。 ○場面や相手に応じ、自分の分かる英語を選んで表現する</p> <p>・振り返りをする。</p>	<p>(英語のリズムやイントネーションをまねして言う) (場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える) (場面や相手に応じ、自分の知っていることを人に伝え、話を聞いて自分の分かる英語で応じる) ○ねらいに沿って表現しているグループを賞賛する場を取り入れる。</p>	<p>・自分たちで作った絵本を使って、自分から2年生に英語でクイズを出そうとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) (外国語への慣れ親しみ) (行動観察、振り返りカード)</p>

● は、「発話アプローチ」を取り入れた具体的な活動 () は具体的な発話アプローチの音声項目

単元名 絵本を作ってクイズを出そう

第1時の活動

6学年 1/5

- 1、ねらい
- 2、表現及び言語表現
- 3、準備

他の国の物語を知り、内容を想像して聞こうとする。
 What do you see? I see a ~.
 CD、CDデッキ、絵本、振り返りカード

児童の学習活動	時間	発話アプローチの音声項目	支援及び指導上の留意点及び評価項目	
			学級担任の活動	ALT等の活動
Greeting <挨拶> ・挨拶をする。 Hello, I'm fine. / happy/ hungry/ sleepy. ・単元のねらいを知る。 ・英語ノート2 P50 を見ながらCDを聞き、どの物語のことなのか推測する。 物語 (スーホの白い馬、赤ずきんちゃん、大きなかぶ、桃太郎)	10	(感謝や賞賛を聞いて分かる) (日本語との音声の違いに気付く)	・挨拶をする。 Hello, How are you? Are you fine /happy/ hungry/ sleepy? ・絵本を作って2年生にクイズを出すことを伝える。 ・物語のイメージがもてるように、英語ノートの他に絵本も用意し、提示する。	
Let's listen ・ALTのアメリカの物語の紹介を聞く。	10	(異体物を手がかりにしてイメージをもって聞く)	・絵本を見せながら、イメージを推測させるように声のイントネーションも付けてALT が読む。 ・絵本を見せながら、ALT のお気に入りの物語を紹介する	
Activity <活動> ・ブラウンベアの物語を聞く Brown bare Brown bare, What do you see ? I see a red cat. ・この単元の課題がわかる。	15	(リズムやアクセントに注意する)	・絵本を使い、繰り返しの表現に興味がもてるように、リズムに注意して読むようにする。 ★ ○日本と外国の物語を知り、内容を想像し、質問に答えている。 ●日本と外国の物語を知り、集中して聞いている。 ・2年生に自分たちの絵本を作ってクイズを出すことを確認する。	
Greeting ・振り返りをする。 ・挨拶をする Good-bye . See you.	10	(感謝や賞賛を聞いてわかる)	・今日の授業を振り返り、「振り返りカード」に記入するよう伝える。 ・児童のよかったところを賞賛する。 ・挨拶をする。 Good-bye . See you.	・児童のよかったところを賞賛する。 ・挨拶をする。 Good-bye . See you.

★は評価する場面

	評価項目	評価の観点	評価の方法
十分満足	○日本と外国の物語を知り、内容を想像し、質問に答えている。	・言語や文化に対する気付き	行動観察 振り返りカード
おおむね満足	●日本と外国の物語を知り、集中して聞いている。		

単元名 絵本を作ってクイズを出そう

6 学年 2 / 5

第 2 時の活動

- 1、ねらい
- 2、表現及び言語表現
- 3、準備

ゲームを通して、絵本作りやクイズに使える形容詞を使った英語表現に慣れる。
 What do you see? I see a big animal. strong lion, tall giraffe, big elephant, small frog, noisy monkey, long snake, fast horse, slow turtle, cute dog, powerful gorilla.
 ブラウンベアの絵本、教師のアレンジ絵本、CD、CDデッキ、形容詞カード、動物カード、振り返りカード、

児童の学習活動	時間	発話アプローチの音声項目	支援及び指導上の留意点及び評価項目	
			学級担任の活動	ALT等の活動
Greeting <挨拶> ・挨拶をする。 Hello, I'm fine. /happy/ hungry/ sleepy. ・本時のねらいを知る Let's chant ♪ ・ブラウンベアの物語やチャンツを聞いた、歌ったりする。	10	(感謝や賞賛を聞いて分かる) (音楽に合わせて体を動かし、歌う) (リズムやアクセントに注意する) (意味を推測してまねて言う)	・挨拶をする。 Hello, How are you? Are you fine /happy/ hungry/ sleepy? ・「絵本作りに使える英語でゲームを楽しもう」というねらいを知り、めあてをもって授業に取り組めるようにする。 ・興味をもって聞くことができるように、繰り返しの表現をまねしたり、出てきた動物のカードを黒板に貼ったりする。	
Activity <活動> ・教師のアレンジした絵本 Deer zoo を聞く	10	(音声とイメージを対比しながら聞く) (聞かれたことに反応して1、2回で答える)	・形容詞のイメージを推測させるために、ジェスチャーなどを付けながら読み聞かせをする。 HRT I don't know. Hint please. It's an elephant.	ALT What do you see? I see a big animal. What's this? That's right.
・「ミッシングゲーム」をする。	10	(具体物を手がかりにしてイメージをもって聞く) (意味を推測してまねて言う) (聞かれたことに反応して1、2回で答える)	・意味の推測を図るために、ジェスチャーをすると共に、形容詞と動物の両方でイメージが膨らむようなカードを提示する。 strong lion, tall giraffe, big elephant, small frog, noisy monkey, long snake, fast horse, slow turtle, cute dog, powerful gorilla.	
・「Go fish ゲーム」をする。	10	(具体物を手がかりにして意味を理解して簡単な英語で答える)	①「ばば抜き」の要領で、20枚のカードから一人3枚のずつ配る。 残りは山にして真ん中に置く。 ②2番目の人が What do you see?と、1番目の人に聞く。1番目の人は、カードがペアになるように欲しいカードを I see a strong lion.などと答える。 2番目の人は、あれば Here you are. といって渡す。なければ、No.と言って、山からカードを1枚取る。それを次の人と繰り返す。 ③ペアになればカードが出せて、速く手元のカードがなくなった人の勝ち。	・戸惑っている児童には、一緒に発音して安心して発音できるようにする。 ★ ○ゲームの中で、形容詞を使った英語表現を進んで使おうとしている。 ●ゲームの中で、形容詞を使った英語表現を使おうとしている。
Greeting ・振り返りをする。 ・挨拶をする Good-bye . See you.	5	(場面に合わせた感謝や賞賛を聞いて分かる)	・今日の授業を振り返り「振り返りカード」に記入するよう伝える。 ・児童のよかったところを賞賛する ・挨拶をする Good-bye . See you.	・児童のよかったところを賞賛する。 ・挨拶をする Good-bye . See you.

★は評価する場面

	評価項目	評価の観点	評価の方法
十分満足	○ゲームの中で、形容詞を使った英語表現を進んで使おうとしている。	・言語や文化に対する気付き ・外国語への慣れ親しみ	行動観察 振り返りカード
おおむね満足	●ゲームの中で、形容詞を使った英語表現を使おうとしている。		

単元名 絵本を作ってクイズを出そう

第3時の活動

6学年 3/5

ゲームを通して、絵本作りやクイズに使える英語表現に慣れ、使おうとする。
 What do you see? I see a big animal. strong lion, tall giraffe, big elephant, small frog, noisy monkey, long snake, fast horse, slow turtle, cute dog, powerful gorilla,
 CD、CDデッキ、絵本、掲示用形容詞動物カード、児童用動物カード、振り返りカード、

- 1、ねらい
- 2、表現及び言語表現
- 3、準備

児童の学習活動	時間	発話アプローチの音声項目	支援及び指導上の留意点及び評価項目	
			学級担任の活動	ALT等の活動
Greeting <挨拶> ・挨拶をする。Hello, I'm fine. happy/hungry/ sleepy. ・本時のねらいを知る Let's chant ♪ ・ブラウンベアのチャンツを聞いたいたり歌ったりする。	5	(場面に合わせて感謝や賞賛を聞いて分かる) (音声を聞いて、具体物を手がかりにしてイメージをはっきりもつ)	・挨拶をする。 Hello, How are you? Are you fine /happy/ hungry/sleepy? ・「絵本作りやクイズで使う英語でゲームを楽しもう」というねらいを知らせ、めあてをもって授業に取り組めるようにする。 ・リズムに合わせて、チャンツをしている児童を賞賛し、リズムにも注意を向けるようにする。	
Activity <活動> ・「キーワードゲーム」をする。	5	(聞いた英語を理解し、反応して動く)	・聞いた英語の意味の理解が深まるように、絵カードを黒板に掲示して、「キーワードゲーム」を行う。 strong lion, tall giraffe, big elephant, small mouse, noisy monkey, long snake, fast horse, slow turtle, cute dog, powerful gorilla.	
・「伝言ゲーム」をする。 strong lion, tall giraffe, big elephant, small frog, noisy monkey, slow turtle, cute dog, powerful gorilla.		(聞いた英語を理解し、真似して人に伝える)	・伝えるカードの数を徐々に増やすなど、繰り返し聞いたり、言ったりする回数をおよぼす。 ・戸惑っている児童には、一緒に発音をして自信をもたせるようにする。	
・作ったカードでクイズを出す。	20	(必要なものを得るために、理解した英語を使う) (理解した単語や簡単な文を聞いて、考えて伝える)	・英語表現を繰り返し使うために、絵本のカードを英語を使いながら作り、ALTにクイズを出す。 ・作り方が分かるように場を設定し、デモンストレーションで見せる。 ・意欲的に作業を進められるように、カードを作る時には、自己選択の場面を設ける。 ①ボランティアの児童に What do you see? と聞く役をしてもらい、I see a ~. と答え、動物のパーツをもらう。 ・もらう場面で、Here you are, Thank you. You are welcome. 等の表現をすることで、気持ちのよいコミュニケーションがとれることに、気付くようにする。 ②指導者が What do want? と聞く。 児童は、Door please. 等、欲しいものを言う。 ●戸惑っている児童に個別に声かけや手本を見せる。 ○自分から進んで英語を使いほしい物をもらいに行く児童を賞賛する。 ③カードが作成できたら、ALTのところに持って行き、クイズを出す。 ・意欲的に英語を使い、クイズを出している児童を賞賛し、他の児童に紹介する。	○慣れた英語表現を使って、ゲームの中で進んで友達に伝えようとしている。 ●慣れた英語表現を使って、ゲームの中で友達に伝えようとしている。
Greeting ・振り返りをする。 ・挨拶をする Good-bye . See you.	5	(場面に合わせて感謝や賞賛を聞いて分かる)	・次時に2年生のためのクイズを考えることを伝える。 Good-bye . See you.	・児童のよかったところを賞賛し、自信をもたせる。 Good-bye . See you.

★は評価する場面

	評価項目	評価の観点	評価の方法
十分満足	○慣れた英語表現を使って、ゲームの中で進んで友達に伝えようとしている。	・コミュニケーションへの関心・意欲 ・態度・外国語への慣れ親しみ	行動観察 振り返りカード
おおむね満足	●慣れた英語表現を使って、ゲームの中で友達に伝えようとしている。		

単元名 絵本を作ってクイズを出そう

第4時の活動

6学年 4/5

- ねらい
- 表現及び言語表現
- 準備

グループで協力して、絵本やクイズで使う英語表現を選び、使おうとする。
 What do you see? I see a big animal. What's this? strong lion, tall giraffe, big elephant, small frog, noisy monkey, long snake, fast horse, slow turtle, cute dog, powerful gorilla, apple, carrot, potato, red, orange, purple など
 CD、CDデッキ、絵本、掲示用形容詞動物カード、児童用動物カード、果物カード、野菜カード、振り返りカード、のり、はさみ、クーピー

児童の学習活動	時間	発話アプローチの音声項目	支援及び指導上の留意点及び評価項目	
			学級担任の活動	ALT等の活動
Greeting <挨拶> ・挨拶をする。 Hello, I'm fine./happy/hungry/ sleepy. ・本時のねらいを知る Let's chant ♪ ・ブラウンベアのチャンツを聞きたいたり歌ったりする。 Let's Listen ・教師のアレンジした絵本 Deer vegetables and fruits を聞く。	5	(場面に応じた表現を使う) (英語のリズムやイントネーションをまねて言う) (聞いて分かったことを言う)	・挨拶をする。 Hello, How are you? Are you fine /happy/hungry/ sleepy? ・「グループで協力し、知っている英語を使って絵本作りやクイズを考えよう」というねらいを知り、めあてをもって授業に取り組めるようにする。 ・自分からリズムに合わせて、チャンツをしている児童を賞賛し、間違いを恐れず発話していく雰囲気づくりを心掛ける。 ・聞いたことのある英語の意味が思い出せるように色も一緒に伝える。 ・絵本を使って、どのようにクイズをするのか参考になるようにデモンストレーションを行う。	
Activity <活動> ・絵本作りを考える。(グループ活動)	15	(分かる単語や簡単な文を聞いて、考え伝える) (分かっている英語を組み合わせて言う)	・絵本作りのヒントになるように、考えられるテーマや英語表現などを全体で出し合う。 ・2年生のために分かりやすい英語を加えたり、ジェスチャーも取り入れる。 ・決める時間を短縮するために、タイトル、登場するもの、使う英語表現、2年生へのメッセージなど、決める項目を予め示しておく。 ・協力して絵本作りを考えているグループを賞賛し、他のグループが参考にできるようにする。	
・グループの中でクイズを出し合う。	20	(場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える) (分かる単語や簡単な文を聞いて、思考し伝える)	・2年生の前で絵本を使って、自分が分かる英語を使ってクイズを出せるように、お互いにアドバイスを合ったり、協力できるグループ活動を取り入れる。 ・2年生の前で、自信をもってクイズが言えるように、グループの中でクイズを出し合い、練習をするよう促す。 ・グループを回り、選んだ英語を意欲的に使っているグループを賞賛する。 ・戸惑っている児童には、個別に声かけをする。	・グループを回り、選んだ英語で意欲的に使っているグループを賞賛する。
Greeting ・振り返りをする。 ・挨拶をする Good-bye . See you.	5	(場面に応じた表現を使う)	・自己評価をするために、「振り返りカード」に記入することを伝える。 ・児童のよかったところを賞賛する。 ・挨拶をする Good-bye . See you.	・児童のよかったところを賞賛し、自信をもたせる。 ・挨拶をする Good-bye . See you.

★は評価する場面

	評価項目	評価の観点	評価の方法
十分満足	○絵本やクイズで使う英語を友達と協力しながら考え、自分から進んでグループ活動の中で使っている。	・コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・外国語への慣れ親しみ	行動観察 振り返りカード
おおむね満足	●絵本やクイズで使う英語を友達と協力しながら考え、グループ活動の中で使っている。		

単元名 絵本を作ってクイズを出そう

第5時の活動

6学年 5/5

- 1、ねらい グループで協力し、自分たちが作った絵本を使って、2年生クイズを出す。
- 2、表現及び言語表現 What do you see? I see a ~.
- 3、準備 CD、CDデッキ、手作り絵本、振り返りカード、

児童の学習活動	時間	発話アプローチの音声項目	支援及び指導上の留意点及び評価項目	
			学級担任の活動	ALT等の活動
<p>Greeting ＜挨拶＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 Hello, I'm fine. /happy/ hungry/ sleepy. <p>♪ 10 steps を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを知る。 	5	<p>(場面に応じた表現を使う)</p> <p>(英語のリズムやイントネーションを真似て言う)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 Hello, How are you? Are you fine /happy/ hungry/ sleepy? 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生と楽しく外国語活動の時間をもつために、一緒に 10 steps を歌い、今日のねらいを意識させる。 ・「グループで協力して2年生にクイズを出そう。」というねらいを知り、めあてをもって授業に取り組めるようにする。
<p>Activity ＜活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作成した絵本を使って、2年にクイズを出す。 	30	<p>(場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える)</p> <p>(場面や相手に応じ、自分の知っていることことを人に伝え、話を聞いて自分の分かる英語で応じる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が意欲的に表現できるように、戸惑う児童には、アドバイスをしあけるなど、グループで協力することを確認する。 ・絵本を使ってクイズを出す中で、分かる英語でヒントを出したり、2年生に対して賞賛しているグループを誉め、他のグループが参考にできるようにする。 ・聞いてくれた2年生に気持ちのこもった挨拶や、感謝の気持ちを伝えているグループを賞賛する。 <p>★</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで作った絵本を使って、グループで協力して2年生に英語でクイズや、ヒントを出したり、誉めたりするなど、英語で対応しようとしている。 ●自分たちで作った絵本を使って、グループで協力して2年生に英語でクイズを出そうとしている。 </div>	
<p>Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 <p>・挨拶をする Good-bye . See you.</p>	10	<p>(場面に応じた表現を使う)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業を振り返り、「振り返りカード」に記入するよう伝える。 ・児童のよかったところを賞賛する ・挨拶をする Good-bye . See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のよかったところを賞賛し、自信をもたせる。 ・挨拶をする Good-bye . See you.

★は評価する場面

	評価項目	評価の観点	評価の方法
十分満足	○自分たちで作った絵本を使って、グループで協力して2年生に英語でクイズや、ヒントを出したり、誉めたりするなど、英語で対応しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語への慣れ親しみ ・言語や文化に関する気付き 	<p>行動観察</p> <p>振り返りカード</p>
おおむね満足	●自分たちで作った絵本を使って、グループで協力して2年生に英語でクイズを出そうとしている。		